

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 2023年 9月13日

職種: <u>カーター</u>	経年数: <u>4年</u>
年齢: <u>26才</u>	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (<u>8</u>) 月 頃	どこで (この現場, 他 の現場)	どのような場所で (<u>道路</u>)
どのような体験か (当てはまるものに1つ○してください)		
1 墜落しそうになった 2 転倒しそうになった 3 機械等に挟まれそうになった 4 ものが落下してきた	5 ものが倒れかかってきた 6 自分からぶつかりそうになった 7 はさまれそうになった 8 切られそうになった	9 やけどしそうになった 10 感電しそうになった 11 交通事故になりそうだった 12 その他 ()
体験の状況図 (図は別紙記載でも可)		
「ヒヤリハット」の内容 どのような作業で? <u>路面補修工事</u> 何をしようとしていた時? <u>道路(As)をカーマシで切断していた時</u> どうなったか? <u>ガードマンと機械が接触しそうになった。</u>		
発生原因(考えられるものを全てに○してください)		
1 設備・機械に問題があった 2 工具・保護具に問題があった 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった 4 作業方法に問題があった	5 <u>①</u> 連絡・連携ミスがあった 6 確認が不足していた 7 <u>②</u> よく考えずに行動してしまった 8 作業をしていた 9 よく見えなかった	

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

←	1	2	<u>③</u>	4	5	6	7	8	9	10	→
	無休業災害										死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

周囲の認識
作業員の配属を把握して作業を行う

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	<u>③</u>	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	<u>③</u>	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	<u>③</u>	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	<u>②</u>	3	4
へとへとだ	1	<u>②</u>	3	4
だるい	1	<u>②</u>	3	4
気がはりつめている	1	2	<u>③</u>	4
不安だ	1	2	<u>③</u>	4
落ち着かない	1	2	<u>④</u>	4
ゆううつだ	1	2	<u>③</u>	4
何をやるのも面倒だ	1	<u>②</u>	3	4
気分が晴れない	1	2	<u>③</u>	4
食欲がない	1	2	<u>③</u>	4
よく眠れない	1	2	<u>③</u>	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	もうだ	まあもうだ	ややもうだ	ちが均
自分のペースで仕事できた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	良い
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちちはつらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に繋がらなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの転転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例> 厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

過去事例の際、車両と本機が接触する様子を見て、周囲を確認しながら作業を行った。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立つと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ〇)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 関係や先輩の語	12 危険箇所の見える化	22 懇話会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- 記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- 後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名 連絡先

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバリーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 25年 9月13日

職種: 区画線工 経験年数: 1
年齢: 24

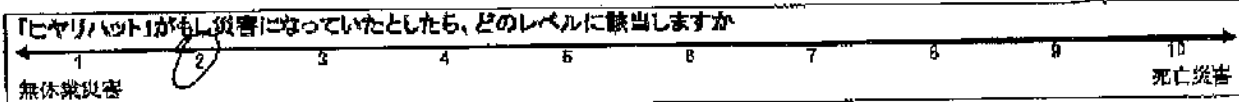
「ヒヤリハット」したこと

いつ (8) 月頃 どこで (その現場, 他の現場) どのような場所で ()
 どのような体験か(当てはまるものに1つ○してください)
 1 墜落しそうになった 6 ものが倒れかかってきた 9 やけどしそうになった
 2 転倒しそうになった 8 自分からぶつかりそうになった 10 感電しそうになった
 3 橋脚等にぶつかるしそうになった 7 はさまれそうになった 11 交通事故になりそうだった
 4 ものが落下してきた 8 切られそうになった 12 その他(ガスボンベ) 落下しそうになった

体験の状況図
(図は別紙記載でも可)

「ヒヤリハット」の内容
 ガスボンベを落とそうになった
 どのような作業で?
 夜間積込時
 何をしようとしていた時?
 ガスボンベを荷台から降ろす時
 どうなったか?
 手を動かして 落とそうになった

発生原因(考えられるもの全てに○してください)
 1 設備・機械に問題があった 5 連絡・連携ミスがあった
 2 工具・保護具に問題があった 6 確認が不足していた
 3 現場の作業環境(騒音、照度、温度、換気など)に問題があった 7 よく考えずに行動してしまった
 4 作業方法に問題があった 8 考え事をしていた
 9 よく見えなかった



「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)
 ハウレットを使用する

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへただ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
何をやるのも面倒だ	1	2	3	4
気分が晴れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よく眠れない	1	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	やや多い	多い
自分のペースで仕事ができた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	毎日あった
職場では、気持ちがはつらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
経験や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか
 (例)厚い石材をベド・サンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます

(当てはまる番号に○)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食卓
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい習慣
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 かつらげる休憩時間と換気
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名


連絡先

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: R5年 9月16日

職種: <u>舗装工</u>	経験年数: <u>30年</u>
年齢: <u>49</u>	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (<u>9</u>) 月頃	どこで (この現場, 他の現場)	どのような場所 (<u>歩道部 (新設)</u>)
どのような体験か (当ではまるものに1つ〇してください)		
1 墜落しそうになった 2 転倒しそうになった 3 機械等に激突されそうになった 4 ものが落下してきた	5 ものが倒れかかってきた 6 自分からぶつかりそうになった 7 はさまれそうになった ⑧ 切られそうになった	9 やけどしそうになった 10 感電しそうになった 11 交通事故になりそうだった 12 その他 ()
「ヒヤリハット」の内容		体験の状況図 (図は別紙記載でも可) 
どのような作業で?		
何をしようとしていた時?		
どうなったか?		
発生原因 (考えられるもの全てに〇してください)		
1 設備・機械に問題があった 2 工具・保護具に問題があった 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった 4 作業方法に問題があった	⑤ 連絡・連携ミスがあった ⑥ 確認が不十分だった ⑦ よく考えずに行動してしまった ⑧ 考え事をしていた ⑨ よく見えなかった	

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

← 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 →
無休業災害									死亡災害

(8)

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

行動する前に作業手順を確認する。
スイッチを切る。

以下、当ではまる番号に1つ〇してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	③	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	③	4
一生懸命働かなければならなかった	1	②	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	②	3	4
へとへとだ	1	②	3	4
だるい	①	2	3	4
気がはりつめている	1	②	3	4
不安だ	①	2	3	4
落ち着かない	①	2	3	4
ゆううつだ	①	2	3	4
何をやるのも面倒だ	①	2	3	4
気分が晴れない	①	2	3	4
食欲がない	①	2	3	4
よく眠れない	①	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができた	①	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	②	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	②	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	金位い
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	③	4
同僚	1	②	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	③	4
同僚	1	②	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	③	4
同僚	1	②	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつも
職場では、気持ちがいっぱいになっている	1	2	3	④
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	④
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	③	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	④
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	③	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	③	4
何かが起こりそうな予感がした	1	②	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	④
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	②	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	②	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	②	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	②	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	④

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例> 厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

運が良かった

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ○)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇話会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	①⑦ 周囲の状況把握	27 よい距離
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。


- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバリした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 5年9月19日

職種: <u>電気</u>	経験年数: <u>10</u>
年齢: <u>74</u>	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (<u>9</u>) 月頃	どこで (この現場, 他の現場)	どのような場所か ()
どのような体験か(当てはまるものについてください)		
1 墜落しそうになった 2 転倒しそうになった 3 機械等に激突されそうになった 4 ものが落下してきた	5 ものが倒れかかってきた 6 自分からぶつかりそうになった 7 はさまれそうになった 8 切られそうになった	9 やけどしそうになった 10 感電しそうになった 11 交通事故になりそうだった 12 その他 ()
「ヒヤリハット」の内容 どのような作業で? <u>雨天時フォークリフト作業時</u> 何をしようとしていた時? <u>鉄板移動時</u> どうなったか? <u>鉄板がスレて落ちそうになった。</u>		体験の状況図 (図は別紙記載でも可) 
発生原因(考えられるもの全てに○してください)		
1 設備・機械に問題があった 2 工具・保護具に問題があった 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった 4 作業方法に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった ⑥ 確認が不足していた 7 よく考えずに行動してしまった 8 考え事をしていた 9 よく見えなかった	

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

← 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 →

無休業災害 2 死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

フォークリフトの押をしっかりとあげゆっくりと運転する。

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背景要因>	そらだ	まあそうだ	ややちがら	ちがら
非常にたくさん仕事をしなければならなかった	1	③	2	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	③	4
一生懸命働かなければならなかった	1	②	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	②	3	4
へとへとだ	1	②	3	4
だるい	1	②	3	4
気がはりつめている	1	③	3	4
不安だ	1	③	3	4
落ち着かない	1	②	3	4
ゆううつだ	1	②	3	4
何をやるのも面倒だ	①	②	3	4
気分が晴れない	①	2	3	4
食欲がない	①	2	3	4
よく眠れない	①	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができた	0	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	0	2	3	4
現場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	0	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	0	2	3	4
同僚	0	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	0	2	3	4
同僚	0	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	0	2	3	4
同僚	0	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
現場では、気持ちがあつらつとして	0	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	0	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	0	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例>厚い石材をベレーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

ゆっくり 履き変えていたため

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ0)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全演習
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。

・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。

・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。

・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名 _____ 連絡先 _____

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバリーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 年 月 日

職種: 漆床	経年数: 1年6ヶ月
年齢: 23歳	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (9) 月頃 どこで (この現場、他の現場) どのような場所で (現場内)

どのような体験か(当てはまるものに1つ○してください)

1 墜落しそうになった	5 ものが倒れかかってきた	9 やけどしそうになった
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった
3 機械等に激突されそうになった	7 はさまれそうになった	11 交通事故になりそうだった
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	12 その他(火災の発生)

体験の状況図 (図は別紙記載でも可)

「ヒヤリハット」の内容

作業員が7月の間、樹脂を塗る作業で、火を用いる作業を行なった。どのような作業で?

下地乾燥のためのバーナー使用。何をしようとしていた時?

バーナーで下地を乾燥していた時、どうなったか?

樹脂との接触により、爆発の恐れがあった。

発生原因(考えられるもの全てに○してください)

1 設備・機械に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった
2 工具・保護具に問題があった	6 確認が不足していた
3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった	7 よく考えずに行動してしまった
4 作業方法に問題があった	8 考え事をしていた
	9 よく見えなかった

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

← 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 →

無休業災害 死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

火を用いる際は月並みよく確認する。樹脂塗りの7月の間、離れられた場所にて管理を行う。

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

＜背景要因＞	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

＜あなたの状態＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへとだ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
何をやるのも面倒だ	1	2	3	4
気分が晴れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よく眠れない	1	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事できた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちがあつらつしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感があった	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例>厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

月日をお見せのため。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます

(当てはまる番号に1つ○)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所が見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。